

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成22年5月6日 (2010.5.6)

【公開番号】特開2009-44374(P2009-44374A)

【公開日】平成21年2月26日 (2009.2.26)

【年通号数】公開・登録公報2009-008

【出願番号】特願2007-206229(P2007-206229)

【国際特許分類】

H 0 4 M 11/08 (2006.01)

G 1 0 K 15/02 (2006.01)

H 0 4 W 28/00 (2009.01)

H 0 4 W 84/10 (2009.01)

【F I】

H 0 4 M 11/08

G 1 0 K 15/02

H 0 4 B 7/26 1 0 9 M

H 0 4 B 7/26 R

【手続補正書】

【提出日】平成22年3月17日 (2010.3.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

コンテンツデータを提供するサーバの端末装置としての情報処理装置であって、

前記情報処理装置に近接された前記他の端末装置と情報の授受を行う近接無線通信を行う第 1 の通信部を制御し、前記近接無線通信によって、前記他の端末装置から、少なくとも前記コンテンツデータの識別情報を含む、前記コンテンツデータの管理に利用される管理データを取得する管理データ取得手段と、

前記管理データ取得手段により取得された前記管理データを画像情報として表示部に表示させる表示制御手段と、

前記表示制御手段により制御されて前記表示部に表示された前記管理データを選択することにより前記コンテンツデータを選択する選択操作を受け付ける選択操作受付手段と、

公衆電話回線網を介して前記サーバと通信を行う第 2 の通信部を制御し、前記サーバに対して、前記選択操作受付手段により受け付けられた前記選択操作により選択されたコンテンツデータを要求する要求手段と、

前記第 2 の通信部を制御し、前記要求手段による要求に対応して供給される前記コンテンツデータを取得するコンテンツデータ取得手段と

を備える情報処理装置。

【請求項 2】

前記管理データは、前記コンテンツデータを提供する前記サーバの接続先を示す情報を含み、

前記要求手段は、前記管理データに基づいて前記接続先にアクセスして前記コンテンツデータを要求する

請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記管理データを予め記憶する記憶手段と、

前記記憶手段により記憶されている前記管理データを読み出し、前記第 1 の通信部を制御し、前記近接無線通信によって、近接された前記他の端末装置に、読み出した前記管理データを供給する管理データ供給手段と

をさらに備える請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】

前記コンテンツデータは、楽曲の音声データである音楽データであり、前記管理データは、楽曲に関する情報である楽曲情報を含む

請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 5】

前記コンテンツデータ取得手段により、前記管理データ取得手段により取得された前記管理データに対応するコンテンツデータを前記サーバより取得したことを、前記管理データの提供元である前記他の端末装置に通知する通知手段をさらに備える

請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 6】

前記管理データは、前記管理データの提供元である前記他の端末装置の情報を含み、

前記要求手段は、コンテンツデータを要求するとともに、前記管理データの提供元である前記他の端末装置の情報を前記サーバに提供する

請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 7】

前記近接無線通信と異なる通信方式により近接無線通信を行う第 3 の通信部と、

前記第 3 の通信部を制御して、前記他の装置に対して、前記選択操作受付手段により受け付けられた前記選択操作により選択されたコンテンツデータを要求する要求手段と、

前記第 3 の通信部を制御し、前記要求手段による要求に対応して供給される前記コンテンツデータを取得するコンテンツデータ取得手段と、

前記第 3 の通信部による近接無線通信の通信可能範囲内に前記他の装置が存在するか否かを判別する判別手段と

をさらに備え、

前記要求手段は、前記判別手段により前記他の装置が通信可能範囲内に存在しないと判別され、前記選択操作受付手段によりコンテンツデータの選択操作が受け付けられた場合、選択されたコンテンツデータを前記サーバに要求する

請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 8】

コンテンツデータを提供するサーバの端末装置としての情報処理装置の情報処理方法であって、

前記情報処理装置に近接された前記他の端末装置と情報の授受を行う近接無線通信を行う第 1 の通信部を制御し、前記近接無線通信によって、前記他の端末装置から、少なくとも前記コンテンツデータの識別情報を含む、前記コンテンツデータの管理に利用される管理データを取得し、

取得された前記管理データを画像情報として表示部に表示させ、

前記表示部に表示された前記管理データを選択することにより前記コンテンツデータを選択する選択操作を受け付け、

公衆電話回線網を介して前記サーバと通信を行う第 2 の通信部を制御し、前記サーバに対して、前記選択操作により選択されたコンテンツデータを要求し、

前記第 2 の通信部を制御し、前記要求に対応して供給される前記コンテンツデータを取得する

ステップを含む情報処理方法。

【請求項 9】

サーバが端末装置に対してコンテンツデータを提供する情報処理システムであって、

前記端末装置である第 1 の端末装置は、

前記第 1 の端末装置に近接された、他の前記端末装置である第 2 の端末装置と情報の授受を行う近接無線通信を行う第 1 の通信部を制御し、前記近接無線通信によって、前記第 2 の端末装置から、少なくとも前記コンテンツデータの識別情報を含む、前記コンテンツデータの管理に利用される管理データを取得する管理データ取得手段と、

前記管理データ取得手段により取得された前記管理データを画像情報として表示部に表示させる表示制御手段と、

前記表示制御手段により制御されて前記表示部に表示された前記管理データを選択することにより前記コンテンツデータを選択する選択操作を受け付ける選択操作受付手段と、

公衆電話回線網を介して前記サーバと通信を行う第 2 の通信部を制御し、前記サーバに対して、前記選択操作受付手段により受け付けられた前記選択操作により選択されたコンテンツデータを要求する要求手段と、

前記第 2 の通信部を制御し、前記要求手段による要求に対応して供給される前記コンテンツデータを取得するコンテンツデータ取得手段と

を備え、

前記第 2 の端末装置は、

前記管理データを記憶する管理データ記憶手段と、

前記管理データ記憶手段により記憶されている前記管理データを読み出し、前記第 2 の端末装置に近接された前記第 1 の端末装置と情報の授受を行う近接無線通信を行う第 3 の通信部を制御し、前記近接無線通信によって、前記第 1 の端末装置に、読み出した前記管理データを供給する管理データ供給手段と

を備え、

前記サーバは、

前記コンテンツデータを記憶するコンテンツデータ記憶手段と、

前記公衆電話回線網を介して前記第 1 の端末装置と通信を行う第 4 の通信部を制御し、前記第 1 の端末装置より、コンテンツデータの要求を受け付ける要求受付手段と、

前記要求受付手段により受け付けられた前記要求に基づいて、要求されたコンテンツデータを前記記憶手段から読み出し、前記第 4 の通信部を制御し、読み出したコンテンツデータを要求元である前記第 1 の端末装置に供給するコンテンツデータ供給手段と

を備える情報処理システム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

前記管理データは、前記管理データの提供元である前記他の端末装置の情報を含み、前記要求手段は、コンテンツデータを要求するとともに、前記管理データの提供元である前記他の端末装置の情報を前記サーバに提供することができる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

前記近接無線通信と異なる通信方式により近接無線通信を行う第 3 の通信部と、前記第 3 の通信部を制御して、前記他の装置に対して、前記選択操作受付手段により受け付けられた前記選択操作により選択されたコンテンツデータを要求する要求手段と、前記第 3 の通信部を制御し、前記要求手段による要求に対応して供給される前記コンテンツデータを取得するコンテンツデータ取得手段と、前記第 3 の通信部による近接無線通信の通信可能

範囲内に前記他の装置が存在するか否かを判別する判別手段とをさらに備え、前記要求手段は、前記判別手段により前記他の装置が通信可能範囲内に存在しないと判別され、前記選択操作受付手段によりコンテンツデータの選択操作が受け付けられた場合、選択されたコンテンツデータを前記サーバに要求することができる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 9

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 0

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 1

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 2

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 0】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 3】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 6
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 4】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 7
【補正方法】削除
【補正の内容】